

いないので不思議に思い、聞いたところ犬の餌と云う。随分豪勢だねと皮肉まじりに云ったところ、私も驚いていると知人が云う。話を聞いたところ全くのオドロキである。

販売店にママゴン達が、このようなものを販売されては、団地が汚れて困ると、販売中止を申し入れ、頭に来た店主が、犬の餌にでもしてくれと持って来たものだという。

## その二

進学に疲れ、ノイローゼや自殺をする子供が増えて来たように思われる。大学進学ならまだしも、高校進学にまで拡がって来たようである。

昔は、天才か紙一重の人達が多かった様であるが、最近はそのだけではない様である。

## その三

御婦達のことばかりでは、女房も街を歩くのに肩身が狭いだらうと思うので、我家の事を記す。

子供に「使に行け、肩を叩け。」と云うと、「何か買ってくれる？」と云う。

「ゴミを拾いに行こう。」と云うと、「日曜日だからゆっくりしよう。」と云う。

これらの出来事を考えてみると、

第一のママゴン達の態度は、自分に都合の悪い事は全て相手の責任である。と云う責任転嫁魔ではないだろうか。子供が欲しいのは、オマケそのものであり駄菓子そのものではない。

根源を断つには、販売店そのものでなく、メーカーをぶつぶすすべきであると思う。物事の解決を、短兵急に解決しようとせずに、なぜ物を大切にしなければならぬか、という心を良く教え、毎週団地の掃除でもやればお前は、お前はとヒステリーを起して怒鳴られるより、良く理解出来るのではないだろうか。

教えられずにドナラレル子供は、叱られる前に、サッサと捨てる知恵を持つていてのではないだろうか。

子供は、被害者であり加害者である。親も又加害者であり、被害者ではないだろうか。

第二の進学のことであるが、子供の教育は、一、子供の能力に合っていること。二、出来れば自分の好きな道に進めることではないだろうか。

おとうさんの様な人になれと云っているのか、学校を出ないと、おとうさんのように、一生うだつが上らないと云っているか、おそらく後者の方が多いいのではないだろうか。なぜなら、子供が親に、とうてい勝てない、と考えて自殺することも少ないだろうし、子は親の血を引